

浅草名所七福神

江戸市中で有名だった浅草名所七福神。九社あるのは、「九は数のきわみ、一は変じて七、七変じて九と為す。九は鳩でありあつまる意味をもち、また、天地の至数、易では陽を表す」という古事に由来したと言われる。

浅草寺までは地下鉄をご利用下さい（半蔵門線「水天宮前」から一つ目「三越前」で銀座線に乗り換え、そこから七つ目「浅草」で下車。乗車時間15分）。矢先稲荷神社からのお帰りは、地下鉄をご利用下さい（銀座線「田原町」駅から六つ目「三越前」で半蔵門線に乗り換え、そこから一つ目「水天宮前」で下車）。

【コース】

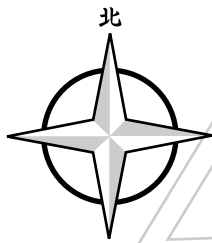
浅草寺	大黒神	浅草神社	恵比須神
待乳山聖天	毘沙門天	今戸神社	福祿
寿	橋場不動院	布袋尊	石浜神社
老神	吉原神社	弁財天	鷲神社
人	矢先稲荷神社	福祿寿	

鷲神社<寿老人>
台東区千束3 18 7

開運、商売繁昌、家運隆昌、子育て、出世の神徳が深く、「おとりさま」と称され、江戸下町の民衆に篤く信仰されてきた。毎年11月の酉の日に行われる「酉の市」では、縁起ものの熊手を求める人々で賑わう。

矢先稲荷神社<福祿寿>
台東区松が谷2 14 1

徳川家光公が国家の安泰と市民の安全祈願、また、武道振興のために、三十三間堂を建立。この堂の守護神として稲荷大明神を勧請した。祀られていた場所が、「通し矢」の矢場の先であったため「矢先稲荷」と名づけられた。



浅草寺<大黒神>
台東区浅草2 3 1
土地の漁師、浜成(はまなり)・竹成(たけなり)兄弟が、隅田川で漁獵中、海中から観音像を引き上げ、これを豪族の土師真中知(はしのみなかち)が私邸に寺として安置したのが寺の起り。年間を通して多くの参拝者が訪れる。

浅草神社<恵比須神>
台東区浅草2 3 1
観音像を発見した浜成・竹成兄弟と、それを安置した土師真中知の三神を祀ったことから「三社様」と呼ばれる。江戸三大祭りの一つである「三社祭」は毎年5月に行なわれる。

待乳山聖天<毘沙門天>
台東区浅草7 4 1
この地が干ばつに見舞われた際、十一面観世音菩薩の化身「大聖歡喜天」が現れ人々を救った。以来、民衆から篤い尊信が集まった。毎年正月7日に「大根まつり」を行い、ふるふき大根と酒が振る舞われる。

今戸神社<福祿寿>
台東区今戸1 5 22
康平6(1063)年、源頼義・義家が、奥州の安倍貞任(あべのさだとう)・宗任(むねとう)の討伐成功祈願ため、京都の石清水八幡を鎌倉と現在の今戸に勧請したのが創建といわれている。縁結びの神として信仰されている。



石浜神社

明治通り

白鬚橋

橋場不動院



橋場不動院<布袋尊>
台東区橋場2 14 19
明治末年の大火、関東大震災、そして東京大空襲の際にも、不動院を中心とした橋場の一角だけは災禍をまぬがれたことから、霊験あらたかな橋場不動尊として現在でも広く庶民に尊信されている。

石浜神社<寿老神>
荒川区南千住3 28 58
隅田川畔の名所として江戸庶民の信仰厚く、隆昌をみたので「隅田名勝八景」「江戸名所図会」「東都歳事記」などにとりあげられている。明治5年に郷社に定められた。昭和63年9月に現在地に遷座。

吉原神社<弁財天>
台東区千束3 20 2
日本橋にあった郭「江戸元吉原」が、明暦3(1655)年の大火のあと、千束村へ移り「新吉原」となる。新吉原に古くから鎮座する稲荷社と郭内の四社が合祀され、「吉原神社」として創建された。



およそ2時間の行程になります。(参拝のぞく)

吉原神社

鷲神社

今戸神社

待乳山聖天

浅草神社

浅草寺

矢先稲荷神社



田原町 ③

雷門 ①③
②
吾妻橋

ROX

浅草通り

かつは橋道具街通り

言問通り

国際通り

仲見世通り

馬道通り

雷門通り

桜橋

隅田川

隅田川

隅田川

隅田川

隅田川

隅田川

隅田川

隅田川